

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：32630

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H01921

研究課題名(和文) 編集文献学の実践的展開 文化の継承と教育への応用

研究課題名(英文) The Practices of Textual Scholarship: Towards Application for Cultural Preservation and Literary Education

研究代表者

明星 聖子 (Myojo, Kiyoko)

成城大学・文芸学部・教授

研究者番号：90312909

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 31,100,000円

研究成果の概要(和文)：特記すべきは、本プロジェクトの成果として3冊の書籍(うち1冊は雑誌の特集号)を刊行したことである。2019年9月に『書物学 第17巻』で特集「編集文献学への誘い」が生まれ、メンバーによる7本の論考が掲載された。2020年12月には、2019年開催の国際ワークショップおよび大学院生・若手研究者ワークショップの活動記録が、書籍『「キリスト者の祈禱書」を読む』として出版された。さらに2022年12月には、コロナ禍でのオンライン研究会の成果として、書籍『フェイク・スペクトラム』が出版された。これら書籍の形として以外にも、メンバー各自、様々な学会で発表し、国内外の学術誌に多数の論文を公刊している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究成果のなかでも、市販雑誌で特集が組まれたことは、私たちの研究の意義が広く社会に認められたことを示しているだろう。また、大学院生たちとのワークショップに関する書籍も、教育への応用という点で社会的意義を有しているといえる。さらにまとめとしての書籍は、「フェイク」という現代社会で極めて重要な概念について、文学研究者ならではの観点から、強い警鐘を鳴らすと同時に、希望のありかも示唆しており、その社会的意義は明らかだろう。またそれは、文学分野の専門性の高い検討が、アウトリーチとは異なる方向で、社会に影響を及ぼしうる可能性を見せており、その点で学術的な意義も大きいといえるだろう。

研究成果の概要(英文)：During the research period study group members presented at a number of conferences around the world and published a large quantity of articles in both national and international journals. Notable achievements were the publication of two books and several contributions to a special issue of the journal "Bibliology". The first book, published in December 2020, called "Reading 'A Book of Christian Prayers'", contained the results of two workshops held in 2019 involving young researchers. The second book, published in December 2022, called "Fake Spectrum", contained the results of the research workshops that were held online due to the Covid-19 pandemic. The special issue of "Bibliology", titled 'An Invitation to Textual Scholarship', (Volume 17, September 2019), contained seven essays by members of the research group. These research outputs are significant because of their impact outside of the academic sphere. They present the latest findings in textual scholarship to a wider audience.

研究分野：ドイツ文学

キーワード：文献学 資料 人文学 編集 文学 編集文献学 哲学

1. 研究開始当初の背景

編集文献学は、19世紀後半から体系化が進んだドイツ文献学が、20世紀初頭にヨーロッパ各地で受容されて、国別、分野別に細分化したあと、最近になってあらためて融合される形で成立、発展しているものである。その融合が近年になって生じた背景には、情報技術の飛躍的な進歩にともなう人文学資料基盤のドラスティックな変化がある。インターネットとコンピュータの普及は、人文学研究の基盤をめぐる環境に、グローバル化とデジタル化という2つの大きな潮流をもたらし、そのなかでその基盤構築をめぐる理論が、汎ヨーロッパ・アメリカ規模で再検討されている。西洋におけるこうした重要な動向は、日本においてはまだほとんど知られていない。そもそも日本では、グローバル化以前のヨーロッパ各地の個別の文献学的状況自体、ほとんど把握されてこなかった。従来、日本の近代的な人文学研究制度の形成には、ドイツ文献学の影響が大きいことは盛んに指摘されているが、その影響関係の理解もまだ正確にはなされていない。ましてや20世紀後半のドイツ編集学と英米の書誌学を中心とするヨーロッパ各国間の重要な交流についてはまったく知られていないといってもいいだろう。私たち研究チームは、この欠落を埋めるために、2011年度より科学研究費補助金基盤研究(A)の支援を受けながら共同研究活動をおこない、着実に成果を積み上げてきた。今回の研究は、その第2期の活動として企図されたものである。

2. 研究の目的

上記のように、研究チームとしての全体の目的は、編集文献学と呼ばれる新しい学問領域を総合的に理解し、最終的には日本の文化環境に適した独自の批判的受容を目指すものである。今回のプロジェクトでは、そのプロセスの第2段階として、西洋文献学が日本の文学研究・教育に果たしてきた役割を歴史的に確認するとともに、文化財としての人文学テキストをいかに高い信頼を担保しながら継承するか、また文献学的検討に不可欠な主体的読解の技法をいかに今後の文学教育に応用するかという実践的問題に取り組んでいく。

3. 研究の方法

(1) 本プロジェクトメンバーの専門分野は、ドイツ文学、英米文学、近代日本文学、西洋古典学、西洋中世学、ルネサンス、さらには日本古典学、日本史学と多岐にわたっている。したがって、各専門分野ごとの班ミーティングを繰り返しながら、メンバー全員が参加する学際的な全体研究会も、各年度2回から3回開催して、学問的理解を相互に深めた。(2020年のコロナ禍発生前までに実施された)全体研究会での主な報告の論題は以下のとおり(なお、後述する書籍の各章の元となった発表は除く。発表者ごとにまとめて記述)。「古今和歌集—平安期に遡及しうる諸伝本をどう位置づけるか」「自筆典籍研究の試み—架蔵『十一遠忠百番自歌合』(孤本、新出資料)の検討を通して」、「南朝公卿補任の真贋判断をめぐる」(武井和人)。「文献学と学際学」「日本文学における文献学—芳賀矢一と久松潜一」(黒田彰)。「吾妻鏡の本文批判について」(近藤成一)。「偽書という虚構—近代日本の小説3つをめぐる」(杉浦晋)。「テキストの行方—チャーザレ・リーパ『イコノロジーア』の諸版について」、「『ラハマン法の創成』翻訳について」(伊藤博明)。「ドイツ学(Germanistik)の歴史—野生の学問か、厳密な学問か」(矢羽々崇)。「漱石全集の編集について」(明星聖子)。「Der positivistische Textbegriff der Germanistik im Kulturtransfer nach Japan um 1900 “(邦題「ドイツ文学研究が生んだ実証主義的テキスト理解—1900年前後の日本への文化転移における」)(Thomas Pekar)。

(2) 2016年8月29日、30日に、プロジェクトメンバーの北島、松原、明星が参加して、編集文献学に関する学生セミナーを実施した。埼玉大学の大学院生および学部3、4年生約15名が参加してこのセミナーでは、カフカの8折り判ノートを素材に、編集文献学的検討の文学教育への応用の道を探った。

(3) オックスフォード大学から Dr. Anne Mouron、ローザンヌ大学から Prof. Christiania Whitehead と Prof. Denis Renevey を招いて、2017年9月23日に静岡大学で国際シンポジウム“Mechithild of Hackeborn’s *Liberspecialis gratiae*: The Idea of its Middle English Translation and Oxford, Bodleian Library, MS Bodley 220 “を開催した。また9月28日には慶應義塾大学で、国際ワークショップ“The Boke of Gostely Grace: The New Edition and its Devotional Context “を開催した。

(4) 2019年3月19日には、大英図書館・前初期刊本部長である John Goldfinch 氏を招いて、国際ワークショップ「西洋初期刊本の比較研究のための編集文献学的方法論」を、埼玉大学にて開催した。また、このワークショップのフォローアップとして、2019年10月28日には、大学院生・若手研究者ワークショップ「A Book of Christian Prayer の編集文献学的研究」も慶應義塾大学にて開催した。(ワークショップの成果として2020年に書籍を刊行。詳細は研究成果の

項で後述。)

(5) 後述の『書物学 第17巻』での特集「編集文献学への誘い」のために、2019年に全体研究会を2回開催して、各論考について相互に検討を重ねた。(発表論題は、研究成果の項で後述。)

(6) 2020年にコロナ禍が発生して以降は、対面での研究会やシンポジウムの開催を諦めて、書籍作りのためのオンライン研究会やミーティングを計10回以上にわたり繰り返した。(発表論題および発表者は、研究成果の項で後述。)

(7) 2021年6月に日本独文学会春季研究発表会で、オンラインシンポジウム「EditionからDokumentation、そしてその先へー編集文献学の射程ー」を行った。発表論題および発表者は以下のとおり。「史的批判版(historisch-kritische Ausgabe)とは何かージークフリート・シャイベの理論を中心にー」(森林駿介)、「フリードリヒ・シュレーゲルの遺稿断章群とその編集・出版の歴史ーヴィンディッシュマン、J・ケルナーからE・ペーラーへー」(二藤拓人)、「書物の死後の生は可能かーベンヤミン『1900年ごろのベルリンの幼年時代』編集・出版を例にー」(田邊恵子)、「ヘルダーリンに見る史的批判版(historisch-kritische Ausgabe)」(矢羽々崇)、「翻訳可能なテキスト」としての新しいカフカ編集の可能性」(明星聖子)。

(8) こうしたチームとしての活動以外にも、各メンバーは国内外で開催される関連テーマの学会で発表をおこなうとともに、各種学会誌での論文の公刊も積極的に展開した。とくに研究代表者は、コロナ禍収束後、本プロジェクトのまとめとなる発表を、2022年3月にオックスフォード大学(イギリス)で開催されたヨーロッパ編集文献学会(The European Society for Textual Scholarship)でおこなった。発表論題は以下のとおり“A New Approach to Editing Kafka’s Der Process: Creating a Base Text for Japanese Translation”。また2022年9月には、まために加えて第3期の展望を示す発表を、クラゲンフルト大学(オーストリア)で開催されたドイツ編集文献学会(Arbeitsgemeinschaft für germanistische Edition)でおこなった。発表論題は以下のとおり“Editionspraxis der Dritten Generation: Wie vermittelt man Franz Kafka einem japanischen Publikum?”。

4. 研究成果

特記すべき成果は、研究期間中に3冊の書籍(うち1冊は雑誌の特集号として)を刊行できたことである。まず、2019年9月に『書物学 第17巻』で特集「編集文献学への誘い」が生まれ、研究チームメンバーによる以下の論考が掲載された。各論考のタイトルおよび執筆者は以下の通り。「編集文献学の可能性」(明星聖子)、「古典文献学の可能性」(納富信留)、「注釈の編集文献学ーヨーロッパ中世文学と注解書写本」(松田隆美)、「4つのヘルダーリン著作集ー史的批判版の実際」(矢羽々崇)、「ラハマン・メソッドとは何かーセバスティアーン・ティンパナー『ラハマン・メソッドの創成』をめぐって」(伊藤博明)、「ハンス・ヴァルター・ガープラーによるジェイムス・ジョイス『ユリシーズ』編集ー英米系とドイツ系の編集理論の相克」(中谷崇)、「古版本を教室に」(井出新)。

また、2020年12月には、上記の2019年開催の国際ワークショップおよび大学院生・若手研究者ワークショップの成果を、書籍『『キリスト者の祈禱書』を読む』にまとめて出版した。各論考のタイトルおよび執筆者は以下の通り。「16世紀の印刷本時禱書と『キリスト者の祈禱書』」(松田隆美)、「『キリスト者の祈禱書』(1590年版)を記述するー目次と内容ー」(西川雄太)、「『キリスト者の祈禱書』全五版における「死の舞踏」の通時的変化」(東中巴奈)、「『キリスト者の祈禱書』研究を概観する」(久中綾子)、「書籍商ジョン・デイの栄光と挫折ー『キリスト者の祈禱書』の出版を中心にー」(坂巻政彦)、「イングランド国教会と視覚文化ー『キリスト者の祈禱と黙想』の出版を中心にー」(井出新)、「祈禱書の変遷に触れてー編集文献学ワークショップ参加報告ー」(冨塚祐、斎藤未来)。

さらに、2022年12月には、コロナ禍でのオンライン研究会の成果として、『フェイク・スペクトラム』が出版された。各論考のタイトルおよび執筆者は以下の通り。「「フェイク」とは何か、「フェイク」をどう論じるか?」(納富信留)、「信憑性の戦略ー『ジョン・マンデヴィルの書』をめぐって」(松田隆美)、「書簡は語／騙るー初期近代イギリスのジャーナリズムとフィクションの誕生」(井出新)、「近代的作者の誕生ーセルバンテスと『贋作ドン・キホーテ』」(瀧本佳容子)、「公私のせめぎ合いと隠された主題ーダニエル・デフォー『ペスト』をめぐって」(高畑悠介)、「正典・外典・偽典ー「聖書」をめぐって」(伊藤博明)、「虚像としての編集ー「大島本源氏物語」をめぐって」(佐々木孝浩)、「「体系哲学者」という虚像のあとでーヘーゲル講義録をめぐって」(下田和宣)、「フェイクの悲劇的な帰結ーフリードリヒ・ニーチェの『権力への意思』をめぐって」(トーマス・ペーカー、翻訳:矢羽々崇)、「フェイクな恋のフェイクな手紙ーフランツ・カフカの『判決』と『変身』をめぐって」(明星聖子)、「共有される擬似現実を生きるということートマス・ピンチョン『競売ナンバー49の叫び』をめぐって」(中谷崇)、「捏造されたホロコースト回想録ーベンヤミン・ヴィルコミルスキーの『断片』をめぐって」(北島玲子)。

また書籍の制作以外にも、各自が多数の論文を公刊している(本報告書では主なもののみ挙げる)。なかでも欧文の論文の出版が多数ある点は、特筆に値するといえるだろう。

さらに上記のとおり、研究期間の前半においては、国際シンポジウムや国際ワークショップを開催して成功させた。計画では、後半にも、より大規模な国際的学術イベントをいくつか開催する予定であったが、残念ながらコロナ禍に見舞われ、いずれも実現できなかった。しかし、それに代わるものとして、オンラインでの研究会等を繰り返して、着実に検討を重ねて、書籍の出版につなげることができた。また、これも上に記したが、コロナ禍が開けてすぐの2022年には、研究代表者が海外の主要な編集文献学会で成果発表をおこない、今後の展開の方向性を明確に示しながら、海外の本分野の重要な研究者たちとの連携体制を強化させたことも、意義ある成果のひとつといえるだろう（なおいずれの発表原稿も加筆して、それぞれの学会誌で公刊する予定である）。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計70件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 明星聖子	4. 巻 17
2. 論文標題 編集文献学の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明星聖子、森林駿介、富塚祐	4. 巻 55(1)
2. 論文標題 「翻訳可能なテキスト」の編集をめぐる諸問題 - カフカ『審判 / 訴訟』の新翻訳プロジェクト -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要 教養学部	6. 最初と最後の頁 143 - 155
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田隆美	4. 巻 17
2. 論文標題 注釈の編集文献学 - ヨーロッパ中世文学の注解書写本	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 8-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 17
2. 論文標題 古典文献学の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 16-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 14
2. 論文標題 アリストテレスのプラトン「イデア論」規定 - 『形而上学』A6, 987b7-10再考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 フィロロギカ	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 13
2. 論文標題 ハイデガーとプラトンの対決	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Heidegger-Forum	6. 最初と最後の頁 77-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤博明	4. 巻 17
2. 論文標題 ラハマン・メソッドとは何か - セバスティアン・ティンパナー『ラハマン・メソッドの創成』をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤博明	4. 巻 105
2. 論文標題 クリスピン・デ・パセのシビュラ図像集の流布とメキシコにおける受容	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 専修人文論集	6. 最初と最後の頁 1-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤博明	4. 巻 106
2. 論文標題 オットー・ウェニウス『ホラティウスのエンブレム集』とサン・フランシスコ修道院（サルヴァドール）の壁画装	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 専修人文論集	6. 最初と最後の頁 173-224
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢羽々崇	4. 巻 17
2. 論文標題 4つのヘルダーリン著作集	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 27-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷崇	4. 巻 17
2. 論文標題 ハンス・ヴァルター・ガブラーによるジェイムズ・ジョイス『ユリシーズ』編集 英米系とドイツ系の編集理論の相克	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 33-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井出新	4. 巻 17
2. 論文標題 古版本を教室に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 38-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigekazu Kondo	4. 巻 4
2. 論文標題 The Personal and Transpersonal Elements of the Governments of Thirteenth-Century Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Die Macht des Herrschers	6. 最初と最後の頁 183-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北島玲子	4. 巻 56
2. 論文標題 故郷喪失者ジャン・アメリーにおける故郷	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学ドイツ文学論集	6. 最初と最後の頁 141-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子・山本啓介	4. 巻 81
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (九)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子・別府節子・本山八重子・山本啓介	4. 巻 82
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (十)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 7-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 165
2. 論文標題 董黯覚書(下) - 董黯画卷の復元 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 女子大國文	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 27
2. 論文標題 呉氏蔵新出董黯石床Cについて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都語文	6. 最初と最後の頁 177-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 27
2. 論文標題 藤崎八幡宮細川家奉納本 八幡縁起絵巻 上巻 - 影印、翻刻 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都語文	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 -
2. 論文標題 テキ門生はソグド人か - 薩甫をめぐる -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文学研究の諸相	6. 最初と最後の頁 315-332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 104
2. 論文標題 魏曹操高陵の孝子伝図 - 申生図を中心に -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 佛敎大学文学部論集	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 104
2. 論文標題 呉氏蔵王子喬石床について - 付ジャン・ホアン氏蔵北魏石床二種 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 佛敎大学文学部論集	6. 最初と最後の頁 87-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉浦晋	4. 巻 55 (2)
2. 論文標題 石川淳「山桜」をめぐって ネルヴァルから秋成へ、あるいはロマン主義の克服	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要 教養学部	6. 最初と最後の頁 259-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宗像和重	4. 巻 68(4)
2. 論文標題 金ヨロン著『小説と 歴史的時問 井伏鱒二・中野重治・小林多喜二・太宰治』書評	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 84-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 37
2. 論文標題 哲学の普遍性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部哲学研究室『論集』	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 海老澤衷・近藤成一・甚野尚志編	4. 巻 -
2. 論文標題 朝河貫一の南九州中世史研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 吉川弘文館	6. 最初と最後の頁 62-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宗像和重	4. 巻 185
2. 論文標題 「日本人ハリオ、ポーニス」の評論を読む - 北村透谷の初期逸文として -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国文学研究	6. 最初と最後の頁 67-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北島玲子	4. 巻 55
2. 論文標題 ユダヤ人であることの強制 - - ジャン・アメリーにおける克服できない過去	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 上智大学ドイツ文学論集	6. 最初と最後の頁 235-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子・山本啓介	4. 巻 79
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 釈文と略解題(七)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 11 - 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 -
2. 論文標題 テキ門生粟特人身分考 以薩甫為中心	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 多維視野下的中日文学研究	6. 最初と最後の頁 117-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 26
2. 論文標題 北朝芸術博物館の郭巨董黯石脚 - 吳氏蔵郭巨石脚との関連 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 京都語文	6. 最初と最後の頁 161-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 19
2. 論文標題 長恨歌の上窮碧落下黄泉と買地券	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 白居易研究年報	6. 最初と最後の頁 225-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 164
2. 論文標題 董黯覚書(上) -董黯画卷の復元-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 女子大國文	6. 最初と最後の頁 32-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 103
2. 論文標題 呉氏蔵新出董黯石床Bについて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 佛教大学文学部論集	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉浦晋	4. 巻 54(1)
2. 論文標題 一九四七年の革命、アレゴリー、アイロニー 石川淳、林達夫から大西巨人、吉本隆明へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要(教養学部)	6. 最初と最後の頁 19 - 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉浦晋	4. 巻 54(2)
2. 論文標題 吉田健一『東京の昔』をめぐって 「水」、「金沢」、そしてジャクソン・ポロック	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要(教養学部)	6. 最初と最後の頁 223 - 238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高畑悠介	4. 巻 10
2. 論文標題 『ノストローモ』における政治の抑圧の諸相	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 コンラッド研究	6. 最初と最後の頁 35-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 12
2. 論文標題 プラトン『ポリテイア』I.334d-eのポレマルコス論駁	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィロロギカ	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 66
2. 論文標題 伝プラトン著『第七書簡』の再検討 前四世紀の書簡文学から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 西洋古典学研究	6. 最初と最後の頁 23-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arata Ide	4. 巻 113-2
2. 論文標題 "Defamed by those that are ignorant in th'affaires": Reading the Privy Council Document on the Rumor about Christopher Marlowe"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Geibun-Kenkyu	6. 最初と最後の頁 56-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤成一	4. 巻 -
2. 論文標題 天皇の譲位と院政 鎌倉時代を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中世日本の王権と禅・宋学	6. 最初と最後の頁 167-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 25
2. 論文標題 テキ門生覚書 呉氏蔵東魏武定元年石床のテキ門生石床について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 京都語文	6. 最初と最後の頁 55-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 102
2. 論文標題 董黯図攷(二) 呉氏蔵董黯石床の出現	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 仏教大学文学部論集	6. 最初と最後の頁 13-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宗像和重	4. 巻 63輯
2. 論文標題 もう一つの『文章世界』 - 大月隆と文学同志会のことども -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 早稲田大学大学院文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 207-226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤博明	4. 巻 53(2)
2. 論文標題 スペイン語版「イソップ寓話集」と国字本『伊曾保物語』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要(教養学部)	6. 最初と最後の頁 43,114
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Thomas Pekar	4. 巻 -
2. 論文標題 Die Psychoanalyse im ostasiatischen Exil. A. J. Storfer und sein Zeitschriftenprojekt Gelbe Post	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Osterreich. Leistungen, Defizite und Perspektiven	6. 最初と最後の頁 199-213
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武井和人・石澤一志・酒井茂幸・日高愛子・山本啓介	4. 巻 77
2. 論文標題 室町期歌會資料集成稿 - 釋文と略解題 - (五)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 13-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 武井和人・石澤一志・酒井茂幸・日高愛子	4. 巻 19,360
2. 論文標題 国立歴史民俗博物館蔵田中本室町期歌會資料四點 - 釋文・略解題 -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要 教養学部	6. 最初と最後の頁 39-59
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 武井和人・石澤一志・酒井茂幸・日高愛子・山本啓介	4. 巻 78
2. 論文標題 室町期歌會資料集成稿 - 釋文と略解題 - (六)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 11-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yusuke Takahata	4. 巻 11
2. 論文標題 Marlow's Psychology and His Two Narrative Perspectives in Lord Jim	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Yearbook of Conrad Studies	6. 最初と最後の頁 43-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 11
2. 論文標題 裁判員は何を被ったのか? プラトン『ソクラテスの弁明』冒頭のメッセージ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 フィロロギカ 古典文献学のために	6. 最初と最後の頁 57-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 納富信留	4. 巻 13
2. 論文標題 西田幾多郎と田中美知太郎 日本哲学とギリシャ哲学の協働のために	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本哲学史研究	6. 最初と最後の頁 1-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井出新	4. 巻 25
2. 論文標題 古典シェイクスピアを読む意味	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 慶應義塾大学アートセンター・ブックレット	6. 最初と最後の頁 10-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北島玲子	4. 巻 53
2. 論文標題 境界をめぐる思考 - ジャン・アメリーのエッセイ「拷問」「精神の境界にて」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 上智大学ドイツ文学論集	6. 最初と最後の頁 85-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宗像和重	4. 巻 813
2. 論文標題 漱石の「一字下げ」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武井和人、石澤一志、酒井茂幸、日高愛子	4. 巻 76
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿：釈文と略解題(4)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 25-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武井和人	4. 巻 69
2. 論文標題 十市遠忠自歌合搜索願	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 汲古	6. 最初と最後の頁 36-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武井和人	4. 巻 別冊2
2. 論文標題 新出資料・架蔵『十市遠忠百番自歌合』小攷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 仁科弘之教授退職記念論集：言語についての 章（埼玉大学教養学部リベラル・アーツ叢書別冊2）	6. 最初と最後の頁 429-441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武井和人、石澤一志、酒井茂幸、日高愛子	4. 巻 75
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿：釈文と略解題(3)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 37-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武井和人	4. 巻 9
2. 論文標題 室町期南都寺院における和書のひろがり	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 上杉和彦監修・福島金治編『学藝と文藝（生活と文化の歴史学シリーズ）』（竹林舎）	6. 最初と最後の頁 285-309
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤成一	4. 巻 1
2. 論文標題 未刊古文書積文バーチャルラボの構成	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 未刊古文書積文作成のための協調作業環境の構築	6. 最初と最後の頁 9-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤成一	4. 巻 1
2. 論文標題 東京大学史料編纂所における古文書データベースのあゆみ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 未刊古文書積文作成のための協調作業環境の9構築	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 100
2. 論文標題 董黯図攷 呉氏蔵北魏石床(二面)の孝子伝図について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 仏教大学文学部論集	6. 最初と最後の頁 15-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 -
2. 論文標題 関于深セン博物館展陳北魏石床の孝子伝図 陽明本孝子伝的引用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『永遠的北朝』(深セン博物館)	6. 最初と最後の頁 86-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 24
2. 論文標題 呉強華氏蔵新出北魏石床の孝子伝図について 陽明本孝子伝の引用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 京都語文	6. 最初と最後の頁 134-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 101
2. 論文標題 呉氏蔵東魏武定元年テキ門生石床について テキ門生石床の孝子伝図	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 仏教大学文学部論集	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒田彰	4. 巻 101
2. 論文標題 蔡順、丁蘭、韓伯瑜図攷 呉氏蔵北魏石床(二面)の連れの一面の出現	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国文学 (関西大学)	6. 最初と最後の頁 21-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉浦晋、奥山文幸	4. 巻 65
2. 論文標題 幻想のモナドロジー 日本近代文学試論	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 98-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉浦晋	4. 巻 25815
2. 論文標題 「懐疑」する芸術	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 埼玉新聞	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明星聖子	4. 巻 110
2. 論文標題 嘘の探究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大学出版	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計57件 (うち招待講演 34件 / うち国際学会 34件)

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 "Likeness" in Plato's Sophist and Parmenides
3. 学会等名 TORCH ' Image and Thought ' Network Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Protagoras' On Gods: its context and an open tradition
3. 学会等名 Princeton Classical Philosophy Conference (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 明治思想と西洋哲学
3. 学会等名 東亜人文社會科學研究的地平線 人物、文化、思想、海洋與經濟的交匯（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Greek Philosophy in the context of World Philosophy: on universality
3. 学会等名 第6回中日哲学フォーラム（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Homonymy and Likeness in Plato's Parmenides
3. 学会等名 The 11th Symposium Platonicum（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Protagoras and the Sophists on Truth
3. 学会等名 Conferece: Truth and Relativism in Ancient Philosophy（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 大西祝の批評主義から見る『哲学雑誌』
3. 学会等名 第36回日本哲学史フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Nakatani
2. 発表標題 Outside the Grand Narrative: The Personal in John Updike's Olinger Stories and Formal Characteristics of the Short Story
3. 学会等名 The American Short Story: New Considerations / American Literature Association Symposium in New Orleans（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田隆美
2. 発表標題 University and Museum Commons: How KeMCo can be "defined"
3. 学会等名 UMAC (International Committee for University Museums and Collections' Tokyo Seminar（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井出新
2. 発表標題 書簡は語／騙る 初期近代ジャーナリズムにおけるフィクションの誕生
3. 学会等名 日本英文学会・全国大会・シンポジア第一部門・初期近代文学空間としての書簡（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 佐藤進一氏の鎌倉時代政治史研究について
3. 学会等名 中世史研究会2019年度総会・大会シンポジウム「佐藤進一の軌跡 いま、「中世国家」を問う」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 中世の博多
3. 学会等名 福岡県立図書館・放送大学連携記念公開講演会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 対深セン市金石イシュー博物館蔵 北朝屏風石床の几点学ジュツ思考(深セン市金石芸術博物館の新収石床をめぐる、一、二の問題)
3. 学会等名 金石文化大講堂・第八期(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 曹操高陵孝子伝図 - 以申生図為中心 -
3. 学会等名 "北方絲綢之路文学・芸術的跨文化研究"研討会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noburu Notmi
2. 発表標題 Thinking of the Ideas from the East
3. 学会等名 4th Conference on Contemporary Philosophy in East Asia (CCPEA2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Noburu Notmi
2. 発表標題 How Modern Japanese People Read Plato 's Politeia "
3. 学会等名 International Symposium: Plato, his Dialogues and Legacy (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Noburu Notmi
2. 発表標題 Thinking of the Ideas from the East
3. 学会等名 International Conference: Plato 's Philosophy in Interdisciplinary Context (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Noburu Notmi
2. 発表標題 Why Soul Matters: Reconsidering the Philosophical Contexts of Plato 's On Soul
3. 学会等名 Forming the Soul: Plato and his Opponents —2nd Asia Regional Meeting of the IPS (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 哲学の普遍性
3. 学会等名 第5回東京大学・全南大学哲学科学術交流シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 アリストテレスのプラトン「イデア論」規定再考 - 『形而上学』A6, 987b7-10-
3. 学会等名 第17回フィロロギカ研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 ハイデガーとプラトンの対決
3. 学会等名 ハイデガー・フォーラム第13回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 千葉常胤 63歳で世に出た人
3. 学会等名 千葉常胤生誕九百年記念第2回千葉氏サミット記念講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 古文書から読み解く中世上野のコスモロジー
3. 学会等名 放送大学群馬学習センター公開講座土曜フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 吾妻鏡 どう読まれてきたか？
3. 学会等名 Traditions of Leadership: Azuma Kagami Translation Workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 仏師運慶と近江の荘園
3. 学会等名 放送大学滋賀学習センター文化祭講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 『吾妻鏡』の中で回想される頼朝像
3. 学会等名 Workshop des SFB "Macht und Herrschaft "Vormoderne Konfigurationen in transkultureller Perspektive"（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 佐藤進一氏の鎌倉時代政治史研究について
3. 学会等名 中世史研究会例会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 北朝芸術博物館蔵の郭巨董黠石脚 - 呉氏蔵郭巨石脚との関連 -
3. 学会等名 北方絲綢之路文化遺産与 2 1 世紀（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 董黠研究事始 テキ門生の世界-石刻における南北朝
3. 学会等名 門生の世界テキ -石刻上の南北朝 -（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 対深セン市金石イーシュー博物館蔵 北朝屏風石床の几点学ジュツ思考（深セン市金石芸術博物館の新収石床をめぐる、一、二の問題）
3. 学会等名 金石文化大講堂・第八期（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 始まりを問う哲学史 複眼的ギリシア哲学史への試み
3. 学会等名 日本哲学会第76回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 伝プラトン著『第七書簡』の再検討 前四世紀の書簡文学から
3. 学会等名 日本西洋古典学会第68回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 納富信留
2. 発表標題 哲学とは何か
3. 学会等名 哲学会第56回研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 “Mouvance?: An open tradition of Protagoras' 'On Gods”
3. 学会等名 The International Protagoras Network Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takami Matsuda
2. 発表標題 “ A Small Didactic Florilegium in Takamiya MS 15 ”
3. 学会等名 Making the English Book (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 絵画に見る蒙古襲来 蒙古襲来絵詞を読む
3. 学会等名 浙江大学2017年度聘請短期外専「学校常規項目」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 無準師範と円爾 径山の復興支援をめぐって
3. 学会等名 浙江大学2017年度聘請短期外専「学校常規項目」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shigekazu Kondo
2. 発表標題 The Personal and Transpersonal Elements of the Medieval Japanese Government
3. 学会等名 "Die Macht des Herrschers -personale und transpersonale Aspekte", Internationale Tagung des SFB 1167 "Macht und Herrschaft-Vormoderne Konfigurationen in transkultureller Perspektive" (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 呉氏蔵東魏武定元年石床のテキ門生について
3. 学会等名 国際シンポジウム「グローバル化時代における人文学研究の諸相 現代における日中・東西の相互啓発のために」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 關於呉氏蔵東魏武定元年石床的テキ門生
3. 学会等名 北京大学国際漢学系列講座84講(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宗像和重
2. 発表標題 近代文学の「検閲」をめぐって
3. 学会等名 国際検閲ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takashi Nakatani
2. 発表標題 The “Personal” in John Updike’s Pennsylvania and His “Dialogues” with Kenzaburo Oe: The “I-Novel” Tradition of Japan and the Writers’ Reading in the Societies Divided
3. 学会等名 American Literature Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 Imagination for philosophical exercise: the story of Gyges' ring and the simile of the Sun
3. 学会等名 New Perspectives on Plato's Philosophy (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 The soul and Forms in Plato's Phaedo
3. 学会等名 XI Symposium Platonicum (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Noburu Notomi
2. 発表標題 The role of Plato in modern Japanese Philosophy
3. 学会等名 The 3rd Conference on Contemporary Philosophy in East Asia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田隆美
2. 発表標題 西洋の写本と印刷本 - 15世紀を中心として -
3. 学会等名 明星大学人文学部日本文化学科国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takashi Nakatani
2. 発表標題 Updike 's Visions of the South: From the U. S. South in The Poorhouse Fair toward the Postcolonial Caribbean South
3. 学会等名 The 27th Annual American Literature Association (ALA) Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takashi Nakatani
2. 発表標題 Updike in Japan: His Initial Reception and Literary Assumptions in the Late-Sixties and the Seventies
3. 学会等名 The Fourth Biennial John Updike Society Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中谷 崇
2. 発表標題 冷戦終結とジョン・アップダイクの中産階級の変質
3. 学会等名 日本アメリカ文学会東京支部12月例会 (シンポジウム 現代アメリカ小説における「保守」の諸相)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 鎌倉の幕府と京都の朝廷
3. 学会等名 学びの杜セミナー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 天皇の生前讓位と鎌倉時代の政治
3. 学会等名 浙江大学歴史系（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 中世日本の王権・日本中世政権の性質
3. 学会等名 浙江大学歴史系（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 関東武士の西遷
3. 学会等名 直実・蓮生を学ぶ会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 中世初期の王権と支配エリート 政治制度と文書の機能
3. 学会等名 ボン大学DFG共同研究センター1167（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤成一
2. 発表標題 史料編纂所の歴史家たち
3. 学会等名 立教大学文学部史学科主催公開シンポジウム「史学科の比較史 草創期から1945年」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 董黯図攷 呉氏蔵北魏石床(両面)孝子伝図
3. 学会等名 孝治天下：古代孝道文化与画像芸術學術検討会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 黒田彰
2. 発表標題 武梁祠画像は偽造的か？以漢代材料検証之
3. 学会等名 国際シンポジウム「内涵暨外延 故宮黄易尺牘研究国際學術検討会」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計25件

1. 著者名 納富信留	4. 発行年 2019年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 238
3. 書名 プラトン哲学への旅 エロースとは何者か	

1. 著者名 小泉三申、宗像和重	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 197
3. 書名 『明智光秀』（「解説」）	

1. 著者名 矢羽々崇	4. 発行年 2019年
2. 出版社 現代書館	5. 総ページ数 387
3. 書名 「歓喜に寄せて」の物語：シラーとベートーヴェンの『第九』 / 改訂版	

1. 著者名 Matthew Shipe, Scott Dill, James Schiff, Marshall Boswell, Judie Newman, Jo Gill, Ethan Fishman, Yoav Fromer, Michial Farmer, Louis Gordon, Kirk Curnutt, Takashi Nakatani, Pradipta Sengupta	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Lexington Books-Rowman and Littlefield	5. 総ページ数 280
3. 書名 Updike and Politics: New Considerations	

1. 著者名 金山弘昌、伊藤博明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ありな書房	5. 総ページ数 318
3. 書名 憧憬のアルストピア パラッツォ・デル・テ「クビドとプシュケの間」からボマルツォ「聖なる森」へ	

1. 著者名 武井和人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 武蔵野書院	5. 総ページ数 2060
3. 書名 十市遠忠和歌典籍の研究	

1. 著者名 Luca Pitteloud , Evan Keeling eds., Noburu Notomi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 143
3. 書名 Psychology and Ontology in Plato	

1. 著者名 Gabriele Cornelli, Thomas M. Robinson, and Francisco Bravo eds., Noburu Notomi	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Academia Verlag	5. 総ページ数 407
3. 書名 Selected Papers from the Eleventh Symposium Platonicum	

1. 著者名 Nicholas D. Smith ed., Noburu Notomi	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Bloomsbury Academic	5. 総ページ数 216
3. 書名 The Philosophy of Knowledge: A History, Volume I	

1. 著者名 編者：海老澤衷・近藤成一・甚野尚志	4. 発行年 2019年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 294
3. 書名 朝河貫一と人文学の形成	

1. 著者名 金山昌弘、伊藤博明	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ありな書房	5. 総ページ数 446
3. 書名 黎明のアルストピア（イタリア美術叢書 初期ルネサンス）	

1. 著者名 足達薫、伊藤博明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ありな書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 光彩のアルストピア（イタリア美術叢書 盛期ルネサンス）	

1. 著者名 納富信留	4. 発行年 2017年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 368
3. 書名 哲学の誕生 ソクラテスとは何者か	

1. 著者名 井出新, 日本英文学会(関東支部)編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 研究社	5. 総ページ数 320
3. 書名 教室の英文学	

1. 著者名 宗像和重, 河野貴美子, Wiebke Denecke, 新川登亀男, 陣野英則, 谷口眞子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 561
3. 書名 日本「文」学史 第二冊 「文」と人びと - 継承と断絶	

1. 著者名 Kanichiro Omiya, Thomas Pekar, Stefan Keppler-Tasaki, Shinji Miyata (Mitherausgeber)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Iudicium Verlag	5. 総ページ数 214
3. 書名 Halt, Schritt, Trab, Galopp - Walter Benjamin weiter, tiefer lesen. [Sonderheft]. Doitsu Bungaku. Neue Beitrage zur Germanistik 16	

1. 著者名 Noburu Notomi	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Academia Verlag	5. 総ページ数 541
3. 書名 Plato in Symposium: selected papers from the tenth Symposium Platonicum	

1. 著者名 Noburu Notomi	4. 発行年 2017年
2. 出版社 SUNY Press	5. 総ページ数 334
3. 書名 Plato's Statesman: Dialectic, Myth, and Politics	

1. 著者名 納富信留	4. 発行年 2016年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 260
3. 書名 学問としてのオリンピック	

1. 著者名 Ide Arata etc., Bruce R. Smith(Editor)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 1032
3. 書名 The Cambridge Guide to the Worlds of Shakespeare: Shakespeare's World, 1500-1660	

1. 著者名 ディディ=ユベルマン 宮下啓三・伊藤博明訳	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ありな書房	5. 総ページ数 324
3. 書名 イメージが位置を取るとき	

1. 著者名 宗像和重 他、日本近代文学会編	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 254
3. 書名 ハンドブック 日本近代文学研究の方法	

1. 著者名 近藤成一 他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 近藤成一（放送大学）	5. 総ページ数 118
3. 書名 未刊古文書積文作成のための協調作業環境の構築	

1. 著者名 近藤成一 他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 310
3. 書名 朝河貫一と日欧中世史研究	

1. 著者名 近藤成一 他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 288
3. 書名 日本の古代中世	

〔産業財産権〕

〔その他〕

編集文献学研究会
<http://kiyoko.jp/>
 編集文献学研究会
<http://kiyoko.jp/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	納富 信留 (NOTOMI Noburu) (50294848)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授 (12601)	
研究分担者	松田 隆美 (MATSUDA Takami) (50190476)	慶應義塾大学・文学部(三田)・教授 (32612)	
研究分担者	井出 新 (IDE Arata) (30193460)	慶應義塾大学・文学部(三田)・教授 (32612)	
研究分担者	伊藤 博明 (ITO Hiroaki) (70184679)	専修大学・文学部・教授 (32634)	
研究分担者	P e k a r T h o m a s (PEKAR Thomas) (70337905)	学習院大学・文学部・教授 (32606)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	宗像 和重 (MUNAKATA Kazushige) (90157727)	早稲田大学・文学学術院・教授 (32689)	
研究分担者	黒田 彰 (KURODA Akira) (80178136)	佛教大学・文学部・教授 (34314)	
研究分担者	近藤 成一 (KONDOU Shigekazu) (90153717)	放送大学・教養学部・教授 (32508)	
研究分担者	武井 和人 (TAKEI Kazuto) (80154962)	埼玉大学・人文社会科学研究科・教授 (12401)	
研究分担者	矢羽々 崇 (YAHABA Takashi) (60265361)	獨協大学・外国語学部・教授 (32406)	
研究分担者	北島 玲子 (KITAJIMA Reiko) (10204893)	上智大学・文学部・教授 (32621)	
研究分担者	杉浦 晋 (SUGIURA Susumu) (90235870)	埼玉大学・人文社会科学研究科・教授 (12401)	
研究分担者	中谷 崇 (NAKATANI Takashi) (50264669)	横浜市立大学・国際教養学部（教養学系）・准教授 (22701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松原 良輔 (MATSUBARA Ryosuke) (30239074)	埼玉大学・人文社会科学研究科・教授 (12401)	
研究分担者	高畑 悠介 (TAKAHATA Yusuke) (20806525)	埼玉大学・人文社会科学研究科・講師 (12401)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	佐々木 孝浩 (SASAKI Takahiro)		
研究協力者	瀧本 佳容子 (TAKIMOTO Kayoko)		
研究協力者	下田 和宣 (SHIMODA Kazunobu)		
研究協力者	久木田 直江 (KUKITA Naoe)		
研究協力者	二藤 拓人 (NITO Takuto)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	森林 駿介 (MORIBAYASHI Shunsuke)		
研究協力者	西川 雄太 (NISHIKAWA Yuta)		
研究協力者	東中 巴奈 (HIGASHINAKA Hana)		
研究協力者	久中 綾子 (HISANAKA Ayako)		
研究協力者	坂巻 政彦 (SAKAMAKI Masahiko)		
研究協力者	冨塚 祐 (TOMIZUKA Yu)		
研究協力者	斎藤 未来 (SAITO Miki)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 国際ワークショップ	西洋初期刊本の比較研究のための編集文献学的方法論	開催年 2019年～2019年
---------------------	--------------------------	--------------------

国際研究集会 International Workshop 2017- The Boke of Gostely Grace: The New Edition and its Devotional Context	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International Symposium 2017- Mechthildof Hackeborn's Liber specialis gratiae:The Idea of its Middle English Translation and Oxford, Bodleian Library, MS Bodley 220	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------